

## 江尻指導者方針

### ■指導方針

ボールを「止める、運ぶ、蹴る」と「動き」の技術の習得と追求  
プレーヤーズ・ファースト環境を整える



### ■指導目標

サッカーの目的は「ゴールを奪う」「ボールを奪われない」こと（技術）  
個々に潜在する運動能力を最大限発揮できる「からだ」づくり（身体）  
上手になりたいという強い気持ちの養成（心）

### □指導指針・指導計画

**現在の姿よりこの選手はユース年代にどうなっているのかを常に描く**

- ・今、身体の大きさや足の速さだけで戦っていないかどうか。
- ・外(他チーム、他カテゴリー、スペトレ)を見て見識を広め、指導者としての目を鍛える。
- ・思考で覚えるより、本能で動く能力を鍛える。

**試合の結果よりプレーの結果を重視する**

- ・試合中に「止める、運ぶ、蹴る」がどれだけできているかをみる。
- ・なぜボールを奪われたのか、なぜゴールを奪えないのか分析する。

**反復練習とゲームを繰り返し行い、上達を測り、育成を計る**

- ・選手には頭で考えるより身体で考えさせる。
- ・単に練習メニューをこなすのではなく、その練習で技術が身に付いているかどうかである。
- ・GKをおいた練習が効果的である。また、GKの育成を検討していく。

**スポーツ障害のケアなど、からだづくりに取り組む**

- ・スポーツ障害に対しては、専門家による適切な診療と指示のもと、練習に復帰させる。
- ・成長期痛に十分注意する。

**コーディネーショントレーニングと能力別トレーニングの実践**

- ・ボールを自由に扱うために、動ける身体づくりトレーニングを週1回実践する。
- ・個々のレベルを上げるために、ギリギリのレベル(能力別クラス)で継続し、ステップアップを図る。

### 大会の取り組み

県大会につながる大会は、子どもたちの目標として設定しますので、下級生も含めた「ベストメンバー」で臨みます。（大会はあくまでも指導一つの手法であり目的ではありません。）

- U12(6年生以下)／全日本少年サッカー [地区予選 未定] (県大会 9月中旬 全国12月)
- U10(4年生以下)／シンキンカップ八人制 [地区予選 5月] (県大会 11月中旬)
- U12(6年生以下)／NTT西日本静岡カップ [地区予選11月] (県大会 2月)
- U11(5年生以下)／しずぎんカップ [地区予選11,12月] (県大会 3月)